

第 40 回大分 NST 研究会報告

2025 年 10 月 25 日小雨の降る中、157 名の参加者を得て別府国際コンベンションセンター（ビーコンプラザ）にて第 40 回大分 NST 研究会を開催させていただきました。テーマを「栄養治療のあゆみ」とし、20 年にわたる研究会・NST 活動のあゆみ、そして低栄養が疾患として認識され治療対象になった現状でこれからの NST を議論しました。

一般演題では畏敬会井野辺病院副院長の石松 俊之先生、同病院看護部 後藤 優美先生に座長の労をいただき、5 題発表がありました。GLIM 基準を導入している施設からの問題提起、テーマに沿った栄養に関する活動の振り返りがあり、有意義な議論ができました。

①GLIM 基準導入の現状と課題

～県内医療機関における栄養評価体制と多職種連携の変化～

（大分県病院協会栄養部会 調査発表） 仁泉会畑病院 管理栄養士 原 理恵先生

②入院時の体重減少を呈する患者の特徴と要因についての調査

中津市立中津市民病院 看護師 津々見 明美先生

③当院における NST 専門療法士認定教育の取り組み

大分大学医学部附属病院 NST 医師 柴田 智隆先生

④大分県病院薬剤師会栄養輸液研修会のこれまでの取り組み

JCHO 南海医療センター 薬剤師 佐々木 達也先生

⑤『嚥下勉強会ゴクリ』のあゆみ

津久見市医師会立津久見中央病院 内科 内科顧問 竹下 泰先生

基調講演は大分 NST 研究会の前代表世話人の社会医療法人財団天心堂へつぎ病院 リンパ浮腫センター 医学博士 唐原 和秀先生に「祝成人！大分 NST」の題名で講演いただきました。これまでの栄養に関わる活動の経験から得られたこと、キーワードを提示いただき振り返りとこれからの NST 活動について示唆に富む内容でした。

特別講演は北里大学医学部上部消化管外科学主任教授 比企 直樹先生より「グリム基準による低栄養診断の実際と問題点」の題名でご講演いただきました。ご多忙であり日程の都合でオンライン配信でのご講演となりましたが、GLIM 基準の詳しい解説と筋肉量測定法の開設と機器紹介、胃全摘術後の食欲低下、筋肉量低下を防ぐ再建法の紹介など知識の再確認と深化、新たな試みをご教授いただき参加者は日常業務に生きる知識を得られました

座長の労をいただいた先生方、演題とご講演いただいた先生方に深く感謝申し上げます。また共催である株式会社大塚製薬工場には運営におきまして多大なるご支援を賜り盛会無事に会を終えることができました、深く感謝申し上げます。会が発足して 20 年の節目で良い振り返りができました。今後もこの会を継続し栄養治療の普及と発展を目指すことを決意表明し報告といたします。

第40回大分NST研究会当番世話人

大分NST研究会代表世話人

社会医療法人関愛会 副理事長

坂ノ市神崎エリア統括

坂ノ市病院 院長 管 聡

社会医療法人関愛会 佐賀関病院

健康栄養支援室室長 中野 広美



原 理恵先生



津々見 明美先生



柴田 智隆先生



佐々木 達也先生



竹下 泰先生



座長 石松俊之先生 後藤優美先生



次回のご案内 石松先生



基調講演 「祝 成人」大分 NST 研究会
唐原和秀先生



当番世話人
管聡先生



特別講演 胃癌治療における GLIM 基準による低栄養診断の実際と問題点
北里大学医学部上部消化管外科学 日本栄養治療学会 JSPEN 副理事長 比企直樹先生